

# KOSUKE KITAJIMA CUP 2023 追加要項

## 1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 予選は区分に関係なく全区分で行う。
- (4) 決勝は、予選の結果上位10名が出場できる。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) B決勝は決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。ただし、小学生決勝実施種目は小学生を対象としない。
- (6) C決勝の出場は以下を条件とする。
  - 【小学生決勝がない種目】  
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生・小学生を対象とする。
  - 【小学生決勝がある種目】  
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生を対象とする。
- (7) 小学生決勝は、決勝進出者を除く小学生の予選上位10名を対象とする。小学生決勝は、50m・100m・200m自由形、50m・100m背泳ぎ、50m・100m平泳ぎ、50m・100mバタフライ、200m個人メドレーのみ実施する。これ以外の種目は小学生決勝を行わないが小学生が出場することはできる。なお、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (8) 800m自由形、1500m自由形はB決勝およびC決勝は行わない。
- (9) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし、800mおよび1500m自由形は抽選とする。スイムオフは、予選のランキング発表後15分以内に本部席にて該当選手または所属責任者の立会いのもと実施時刻を決定する。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合はスイムオフ出場を辞退するものとみなす。スイムオフを辞退した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (10) B決勝・C決勝・小学生決勝進出および800m・1500m自由形において、同記録で定員を超えた場合は、抽選で優先順位を決定する。抽選は、予選競技のランキング表示後15分以内に本部席にて行う。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合は、抽選の権利を失う。抽選の権利を失った選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (11) エントリー数が10名以下の場合でも予選競技を行う。
- (12) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (13) 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までにリゾリューションに棄権届出用紙を提出すること。指定時間までに棄権届出用紙の提出がない場合は1種目あたり棄権料3,000円を徴収する。予選の指定時間内棄権届出用紙提出に限り、メールによる添付送信での提出を認める。  
送信先：oc@tokyo-swim.org
- (14) 決勝および小学生決勝・B・C決勝の棄権はできない。やむなく棄権を希望する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリューションに1種目につき3,000円の棄権料を添えて決勝棄権届出用紙を提出すること。審判長が許可した場合に限り届出を受理する。指定時間までに決勝棄権届出用紙を提出することなく棄権した場合は無断棄権となる。
- (15) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (16) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (17) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。

- (18) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (19) 800m・1500m自由形における周回通知は、折り返し側に周回板を提示し、コールは行わない。
- (20) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (21) 予選は組のみの紹介、小学生決勝・B決勝・C決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (22) 選手は退水後、係員の指示に従いダイビングプール脇からスロープを通りサブプールへ退場すること。決勝の優勝者はフラッシュインタビューを実施する場合がある。また、取材要請がある場合は、ミックスゾーンにてインタビューを実施する場合がある。
- (23) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし、治療目的の場合は事前にテーピング許可願を提出し審判長の許可を得ること。

## 2 表彰について

- (1) 決勝競技終了後、各種目1位～3位にメダルを授与する。（B決勝・C決勝・小学生決勝は除く）
- (2) 小学生決勝競技は各種目終了後、1位～3位に賞状を授与する。
- (3) 最優秀選手（男女各1名）・優秀選手（学種別・男女別各1名）を決勝におけるFINAポイントによって選考する。世界記録・日本記録を樹立した選手には追加ポイントを与える。ただし、最終日の優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。
- (4) 最終日の全競技終了後に優秀選手表彰式を行う。

## 3 賞金について

- (1) 世界新記録を樹立した者に賞金100万円を授与する。
- (2) 日本新記録を樹立した者に賞金10万円を授与する。
- (3) 最優秀選手に賞金50万円を授与する。
- (4) 決勝競技各種目優勝者に5万円を授与する。

## 4 登録団体用健康確認票（兼誓約書）について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書（様式 T-03）は、各団体にてホームページよりダウンロードして持参すること。（※選手およびチームスタッフ個別の健康管理表は不要）
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し、登録団体用健康確認票兼誓約書を9時までに入場受付に提出すること。（1団体1枚/毎日）
- (3) 登録団体用健康確認票兼誓約書の提出が確認できない団体の出場は認めない。

## 5 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフに配布すること。（A4サイズでプリントして4分割する。プリントはモノクロでも可）
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。（折らずに収納できるサイズを使用すること）
- (8) 大会期間中の体温と体調を必ず記入すること。
- (9) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。大会終了後にADカード提出を確認できない選手の記録は抹消する。

- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。

## 6 入退場について

- (1) 大会期間中(21~23日)は、7時00分に開場しチームスタッフ(各団体1名)、選手、その他の順で入場する。

(注意) 必要以上に早く来場しないこと。入場を待つ間はマスクを着用し、対人距離を保つこと。

- (2) 入退場は、歩道橋直結白ゲートとする。(別紙「会場図」を参照)

- (3) 入場の手順は以下のとおりとする。

①ADカードチェック

②検温

- ・検温カメラで自動計測する。係の指示に従い1列でカメラの前を通過すること。
- ・37.5℃以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。

- (4) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。

- (5) 出場最終日の退場時にADカードを退場口の受付に提出すること。

- (6) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

## 7 控え場所について(別紙「会場図」を参照)

- (1) 控え場所は観覧席のみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。

- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。

- (3) 観覧1階席最前列は危険防止のため使用不可とする。

- (4) 観覧席は対人距離を確保して利用すること。

- (5) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。

- (6) サブプール更衣室は使用できない。

## 8 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合があるので当日は係員の指示に従うこと。

### (1) メインプール

① 水深2m、水温28.0度に設定する。

② ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。

③ ウォーミングアップ時の1レーンはスタート側から、10レーンは折返し側からのダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、9レーンはペースレーンとする。(クロールのスイムのみ)

④ 公式スタート練習は1レーンで、予選競技開始の1時間前から45分間行う。利用人数によりレーンを増やす場合がある。

⑤ パドル・コード類の使用は禁止する。

⑥ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。

⑦ 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

### (2) サブプール

① 水深1.2~1.4m、水温28.5度とする。

② 2~4レーンを女子専用、5~7レーンを男子専用とし、1レーンは招待選手専用とする。

③ 飛び込みは禁止する。ダッシュレーンは設けない。

④ パドルの使用は禁止する。

⑤ 混雑時はコードの使用を禁止する。

⑥ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

### (3) ダイビングプール

使用できない

## 9 ストレッチスペースについて

サブプールプールサイドをストレッチスペースとする。利用の際は以下の注意事項を厳守すること。

- ① 他者との対人距離を十分に確保し、常時マスクを着用すること。対人距離を確保できないと判断した場合は利用者数を制限する。
- ② 複数人でのストレッチ、補強等は認めない。
- ③ スペースの専有（場所取り）はできない。利用は1回30分以内を目安とし長時間滞在しないこと。
- ④ ストレッチスペースでの食事は禁止する。飲料の摂取は認めるが、ゴミは持ち帰ること。
- ⑤ 利用の際はできるだけストレッチマット等の敷物を使用すること。
- ⑥ ストレッチスペースでの更衣は禁止する。

## 10 抗議

- (1) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (2) 競技に関する抗議は、事象発生後30分以内にその団体の監督または代表者が抗議書に必要事項を記入の上、抗議料10,000円（1種目あたり）を添えてリゾリューションに提出すること。

## 11 公式練習について

- (1) 1月19日（木）13時から17時まで大会会場で練習できる。  
※メインプールのみ使用可能
- (2) 入退場方法は「6 入退場について」に準ずる。（開場時刻12:45/最終入場16:30まで）
- (3) 入場は、選手・チームスタッフADカード所持者のみとする。一般の入場はできない。
- (4) 更衣は、メインプール更衣室を利用すること。ただし、ロッカーの使用はできない。
- (5) 荷物は個人またはチームの責任で管理すること。
- (6) プール利用方法は電光表示板に掲示する。
- (7) 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。
- (8) トレーニングルーム等、メインプールおよび更衣室以外のエリアは立ち入り禁止とする。
- (9) プールサイドは一部設営作業を行っているので注意すること。

## 12 監督者会議について

監督者会議は行わない。

## 13 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

## 14 放送・配信について（予定）

- (1) CS日テレジータスで決勝競技をライブ放送する。
- (2) YouTube「かわずちゃんねる」で予選・小学生決勝・B決勝・C決勝をライブ配信する。決勝はCS日テレジータス放送終了後に録画配信を行う。

<https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJStFKQ>

## 15 競技結果（速報）およびスタートリストについて

- (1) 会場で競技結果の掲示は行わない。
- (2) 競技結果および決勝スタートリストはプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

## 16 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。

- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会の欠場要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会後7日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
- (4) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (5) 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に個人情報提供される場合がある。
- (6) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (7) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

## 17 その他

- (1) 熱中症に注意すること。
  - ① こまめな水分補給を心掛けること。
  - ② ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (3) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- (4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
- (5) 忘れ物はリゾリユーションまたは受付にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあるので控えること。
- (10) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

## 18 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147 (平日 10時～17時)  
大会期間中の連絡先 03-5534-6388 (開場～閉場時刻まで)